

防災面での危機管理について

災害時の安否確認・連絡方法は親子で話しあって決めておきましょう

大地震発生時の対応について

法政大学は震度5弱以上の地震発生で非常体制となり、授業・イベントを中止します。東京都の条例では、救護活動の優先や二次災害防止のため、一斉帰宅を抑制する3日間の安全な建物内待機を推進しています。そのため、本学では学生が3日間、大学内で待機できるように備蓄品を用意しています。

建物について

法政大学施設の耐震化率は100%です(2024年4月1日現在)。

なお東日本大震災発生後に、本学の全校地全建物で専門業者による建物の安全性調査を実施し、「建物構造体に関して耐震上の被害はなく、耐震強度は地震被災前と同等であること」と「建築本体二次部材(天井その他の仕上げ材、配管・設備機器)の落下危険性のないこと」を全棟で確認しております。

防災訓練について

法政大学では大地震や火災、傷病者発生等を想定した防災訓練を年に2回実施し、教職員が災害発生時にとるべき行動を確認するとともに、学生に対しても啓発活動を行っています。

<大地震発生時の避難場所>

市ヶ谷：原則として建物内待機
多摩：各建物に隣接する広場
小金井：原則として建物内待機



防災用備蓄品は各キャンパスに配置しています。

<大規模災害発生時にとる三大原則>

(1) 大学にいるとき

- ①身の安全を確保
- ②周囲の火の始末・初期消火
- ③周囲のケガ人の救助・救援活動

その後の行動については、大学が情報収集に努め指揮をとります。帰宅が困難なときは大学にとどまります。

(2) 自宅または学外にいるとき

- まず、身の安全を確保。
通学・帰宅途中はただちに帰宅。
家族と連絡を取り合い安全を確保。

災害用伝言ダイヤル 電話番号 171 災害用伝言板サービス(携帯電話)

大規模災害発生時、発生地域で自分の安否情報を家族・親類・知人などに知らせるため、メッセージを登録できるサービスです。

詳しい設定・登録方法は、以下の各携帯電話会社の案内をご確認ください。

■NTT Docomo
https://www.docomo.ne.jp/info/news_release/page/20040708_2.html

■au(KDDI)
<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/>

■SoftBank
<http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>

■Y!mobile
<http://www.ymobile.jp/service/dengon/>

毎月1日と15日は体験利用ができます。
親子で使いこなせるようにしておきましょう。

就職



就職／理系の就職活動／教職・資格／講座／公務員／学部別の主な就職先／
就職に関するQ & A